



2022年11月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 白江 浩
 編 集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022(243)1300
<http://www.arinomama.or.jp>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

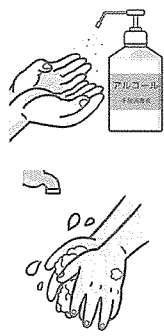
拡大感染防止委員会へ感染症の季節を乗り越えよう

毎月一回、法人にて「拡大感染防止委員会」を開催し、ありのまま舎として取り組む感染症対策を話し合っています。

- ①情勢分析、②感染防止策の確認(徹底)、③予防接種への対応、④抗原検査状況、⑤BCP策定、⑥日常対応(標準予防策・外出、面会の確認)等が主な議題です。

11月に入り、インフルエンザ流行の季節になり、コロナウイルスとインフルエンザは症状が似ているためその見極めが必要になってきます。抗原検査は検査を行う時期、タイミングによって100%正しいとは言えませんが、コロナかどうかを判断する方法として活用し、インフルエンザの疑いと判断できれば医師に相談し治療薬の服用を行うことができ、感染を広めないように努めていきたいと思っています。

国の方針で陽性者や濃厚接触者の療養期間の基準が緩和されていますが、情報の分析を行い、ありのまま舎独自の療養期間と待機期間を設定しました。特に感染者が同居の方でご本人が濃厚接触者になった場合、発症する恐れのある期間も含めて長めに療養



換気が重要になりマニュアルを作成し実施しています。

期間をお願いしています。現在のところ入居者、利用者の感染はなく過ごすことができ、ご家族の皆様にも感染症対策のご協力をいただき決められた時間内で面会を行っていただいています。

これから冬に近づき様々な感染症が流行する季節になります。日頃からの対策をしっかりと、丁寧

薫る風

Sさんが当舎に入居したのは、以前入院していた病院の先輩が当舎に入居された後、その尊敬する先輩が亡くなった。博識で豊富な話題について行くために、自ずと私自身勉強せざるを得なかった。特に、政治談議が好きで、尊敬する政治家の話を幾度となく伺った。ご自身も政治家を目指す夢を持っておられた。3年前に人工呼吸器を使うALS(側索性筋萎縮症)の方が、参議院議員に当選されたが、Sさんもそうなたっていった可能性がある。難病で自身の病気に関する情報を常に収集し、新薬や新しい治療法の情報に接し、少しでも改善する可能性があれば、ご自身にも試してみたい、と思っておられた。その日、胸の苦しみを訴えて仙台でも有数の総合病院を受診された。原疾患もあり、明確な診断はつかず、ご本人はひと晩入院して様子を見て欲しいとの思いだった、と同行したご家族から聞いた。しかし、コロナも影響したのか、入院できず施設に戻り、その日の夜急変して亡くなった。Kさんはご家族との関係が築けず、一人で訪問看護やヘルパーさんの力を借りて頑張って暮らしていたが、夜間や人がいない時間帯への不安から入居された。Sさんとは違う難病で、進行そのものはそれほど早くなかった。ただ嚥下障害もあり、いずれは胃瘻造設が避けられないだろうと考え、その体制について検討を始めていた。その矢先に誤嚥性肺炎で急遽入院された。その後、病院から疎遠だったご家族と連絡をとり、胃瘻造設等何もせず、退院することになった。ご家族とも話合ったが、変わらなかつた。そうして迎えた退院の日の未明、急変して亡くなられた。相次いだお二人の死は今も後悔の念が強く残る。

(白江浩)

ベトナムからの留学生受け入れ 奮闘の様子



グエン・ティ・グエットさん
「日本語難しいです。でも仕事が好きです。」



グエン・ティ・ミン・グエットさん
「入居者と話すのが楽しいです。仕事頑張ります。」

5月1日より障害者支援施設太白ありのまま舎でベトナムからの留学生2名の受け入れを行っています。太白ありのまま舎の職員宿舎を使用し、午前中はありのまま舎で就労し、午後から日本語学校に通い、また介護福祉士の資格取得を目指しています。はじめは居室や共用部分の消毒、環境整備、入居者の食事準備を行い、現在は日中活動入浴後のサポート、食事介助など身体介助も少しずつ増えています。

日本の介護を学びたいという思いと、経済的な理由から、日本語を学び(留学)、介護資格を取得し、日本の介護現場への就職を目指し来日しました。東北での仕事を希望する人は少なく、また高齢介護ではない障害者介護を希望する人は、極めて貴重です。一方でお互い言葉がうまく通じない中で、当舎の理念や方針、ありのまま舎が目指すものを伝えられるか、サポートするスタッフの体制を整え、業務に努めています。入居者の方のお名前をしつかり把握され、丁寧に対応され多くのごことを学ぶ姿から私たちも多くのことに気づかされています。いつも謙虚に「私たち勉強頑張ります。」と前向きに学ぶ姿勢は人柄と共に仕事に対する向き合い方に学ぶことばかりです。



食事介助の様子

(栗原千賀子)



【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】
10月に入居者の入退居が続きました。おひとりは障害者支援施設に入居が決まり10月上旬に退居されました。当舎に入居前から待機申請をされており、早い段階で施設入所が決まり約7カ月のグループホームでの生活でした。「それぞれの事情があるから何が一番いいのかな。お世話になりました。」とお元気に出発されました。
その後10月中旬に入居者が決まり新しい生活がスタートしました。心臓に疾患をお持ちで身体に負担をかけないように気をつけながらご自分のことができることに取り組まれています。
一方で高齢のため認知症の症状が進み、ホームでの生活が困難になった方がおられ、病氣治療のため10月下旬に入院された方がいました。ご本人の不安と焦りが行動に表れ、その日によって気持ちや行動に変化が大きくありました。ご本人が一番大変な思いをされていること感じながら、スタッフの対応に限界を感じる日々でした。また介護保険との併用で新たな課題が見えたと感じています。
入居者それぞれの事情と思いを受け止める機会となり、ホームの運営の在り方を考える時となりました。

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】
施設に入所している方のモニタリングがあり、先日久しぶりにゆつくりお話をしました。面会に行くと、いつも日中活動の中で作っているキーホルダーや手芸品を見せて下さり、「こういう風に作りました。」「次はこういうのを作る予定です。」と楽しそうにお話して下さいます。毎日、活動に参加し、他入居者や職員との交流も楽しんでおり、日中活動が生活の一部になっています。
この方は数年前に体調を崩し入院したことがあり、「あの時は本当に大変だったので、自分で気を付けられることはやっていきたいです。」とお話があり、体重や食生活を自分なりに気にしながら生活しています。また、施設の職員のサポートやアドヴァイスをもらいながら工夫して健康を維持しています。
体調が良くないと日中活動の参加が難しくなります。この方が一日の中でとても楽しみにしていることを続けられるよう、専門職の支援を受けながら、ご自身で工夫できることを継続し、施設での生活が充実したものと成ればと思います。

(石黒ゆに)

当クリニックは、難病ホスピス太白ありのまま舎・自立ホーム仙台ありのまま舎の入居者の健康をサポートします。

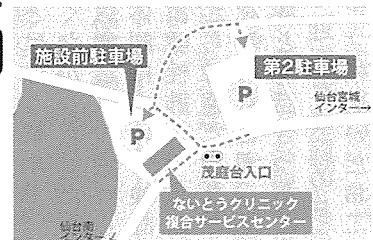
茂庭台
ないとうクリニック
院長 二井谷 友公

(診療科目) ●内科 ●小児科

電話 (022) **281-5490**

診療時間

- ◆月～木曜日
午前 9:00～12:00
午後 3:00～5:00
- ◆金曜日
午前 9:00～12:00
午後 3:00～4:45
- ◆土曜日
午前 9:00～12:00
- ◆休診日 日曜日・祝日



※ 診療時間についてはお問い合わせ下さい

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
「アクティヴィティケア」

アクティヴィティでの日中の活動は、毎週火・土曜日の午前・午後行っており、また外部利用者の受け入れも行っています。

コロナ禍での活動も二年目ということもあり、引き続き参加入居者・外部利用者より感染対策等のご協力を頂いております。

活動内容としては、参加者同士の接触等の感染リスクが少ない様にプログラムを組んでおります。例えば、雑学等をテーマにしたクイズやスタンプが動作を真似て何をやっているか当てるジェスチャーゲーム等を取り入れております。また、季節を感じて頂くために、その時期の旬の果物や植物などを折り紙で作成して、みんなで作った物を飾る等で披露しています。そして、写真の風景はポツチャというボールを使ったスポーツを行っているところですが、自分でボールが投げられる方も筒など補助が必要な方にも楽しんで頂けるよう工夫しております。

今年五月より入られたベトナムの留学生の方にもお手伝い頂き、当初よりも大分雰囲気慣れてきた様子です。
また制約の多いご時世ですが、スタッフ一同更なる支援に努め

て参ります。

(榎本勇大)



ポツチャの様子。ボールを投げたり転がしたりして目標球にいきなり近づけるかを競います。勾器具（滑り台や筒など）を使って、介助者に意思を伝えて行うことができます。

【チャイルドケア

仙台ありのまま舎保育園】

紅葉が見頃となりました。園周辺も落ち葉や木の実が落ちていて、楽しい季節です。

落ち葉に埋もれたり、集めてかけあいつこをしたり、どんぐりや木の実は一歩歩くたびに落ちているので、なかなか前に進みません。そんな子どもたちの様子も微笑ましく嬉しくなりま

すね。
落ち葉を集めていると、幼い頃、みんなで落ち葉を集め、焚火で焼き芋会をしたことを思い出します。焚火をして焼きあがるのを待っていただけなのに、楽しかったなと懐かしく思うので、子どもたちにも体験させてあげられたらと思います。今

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

第7回目の相談者さんへの「インタビュー」はAさんです。Aさんは絵を描くのがとても上手で、以前もこちらで作品を紹介させて頂いた30代の女性です。普段はB型事業所で企業からの受託作業などに取り組まれています。

一、楽しみにしていること

スマホゲームをした後に音楽を聴きながら寝落ちすることだそうです。近隣の騒音が気になっていたので、この方法だと音を気にせずに眠れるとのことでした。

二、頑張っていること

お金を貯めるためにお小遣い帳をつけたり、B型事業所での作業や自宅の手伝いでお小遣いももらったりしているようです。

三、目標など

「似顔絵師になること！」
ずっと目指してきた夢のために「自身で色々情報収集をされており、スクールを見に行ったりデジタルアートに挑戦されたりしていました。直近の目標は、通信講座を受講し、似顔絵師の資格を取りたいとのこと。夢が実現できるよう応援していきたいと思えます。(熊谷経子)



さつまいもが大きくなりました！



山田かぎとり眼科

022-748-7657

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
14:00~17:00	○	手術	○	○	○	休診	休診

〒982-0818 宮城県仙台市太白区山田新町82
(K's ケーズデンキ仙台太白店そば)

診療に関するお問い合わせや当院に関するご質問、ご要望などお気軽にお問い合わせください

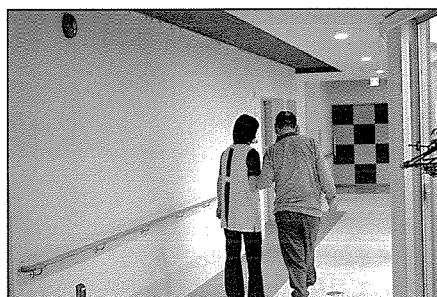
巨理エリア

【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎】
【ケア】

巨理ありのまま舎開所から三年半が経過しました。入居者、利用者の方も増え、まずは第一に入居者・利用者の方々に必要な身体的ケアを行える体制を考え進めています。身体的ケアといっても、時間帯によって様々なケアがあり、排泄ケアについても、スタッフがトイレ誘導を行い、一部ケアが必要な方。スタッフを抱えて、トイレに座って頂き、排泄後にふき取りの必要な方。オムツを着用しており、ベッド上で交換する方など様々です。その一つ一つを「本人、スタッフにとって安全に、快適に行うことに取り組んでいます。入浴ケアでは、外部利用の方で浴室に誘導して「本人でゆつ



食事の様子。感染症対策を行っています。



マンツーマンでのリハビリの様子。

くり入浴される方、入浴用リフトに介助で移乗して、浴槽に入る方。入浴用ストレッチャーに移乗して、浴槽が上下することにより入る方等、様々です。排泄ケアは居室で、入浴については浴室で、マンツーマンで行うケアが多く、ケアを受ける方の満足度を考えながら、安全と効率を考えて行うことは、人と時間を要します。

ケアはこれ以外にも、食事ケア、食後の口腔ケア、朝の起床のケア、夜の就寝のケア等幅広くあります。また洗濯物の対応、各居室の清掃、シーツ交換等もケアスタッフが行っており効率化を図っていますが、隅々まで行うのは難しい状態です。

今後入居者・利用者の皆様にとってより良いケアを行えるよう試行錯誤の毎日です。

(金子仁)

【サポートケア巨理ありのまま舎基幹相談支援センター】

9月9日(金)、巨理町中央公民館にて、権利擁護・虐待の防止の取組事業の一環として「障害のある方・ご家族向け研修会」を開催しました。

始めに宮城県社会福祉協議会みやぎ地域福祉サポートセンターの方より、日常生活自立支援事業(通称・まもりいぶ)の内容や利用方法などについて、説明を頂きました。

次に、巨理町社会福祉協議会の方より、巨理町における日常生活自立支援事業の支援状況について情報提供を頂きました。

質疑応答では、沢山のご質問を頂き、講師のお二人から丁寧に回答を頂きました。アンケートの結果では「とても参考になった。」「参考になった。」「が八割以上で、具体的な事が分かってよかったです。」「まもりいぶの役割が確認できた。」「という感想を頂きました。一方で「難しいと感じた。」「利用するにはハードルが高い、難しさを感じた。」「という意見もありました。

(馬場美和)

【サポートケア県南ありのまま舎】
【難病・障害者相談支援センター】

10月21日(金)に開催した巨理町障害者等地域自立支援協議会相談支援部会では、障害者支援と介護保険利用者支援の連携をテーマに、介護保険ケアマネージャー等の方々に広く参加いただき障害と介護のダブルケアマネジメント支援事例の共有とその後の意見交換を行いました。

事例から追った具体的なそれぞれのサービスの利用のすみ分けや配慮すべき点、役割分担など多くの視点からの話題提供を頂きました。その後のグループに分かれての意見交換も活発な意見出しが行われて、各グループからの発表内容も興味深く部長の立場からお聞かせいただきました。

8050問題などを耳にする機会が多くありますが、部会の前段では福祉を切り口にした「8050世帯の親子への支援」と題してファイナンシャルプランナー 齋藤真一氏からの講義もいただき、支援として難しさを感じる場面のあるお金の話や親亡き後を考えて早めの準備等の必要性を、事例を基に具体的に分かりやすくお伝えいただきました。

人生のライフステージに寄り添う支援者として、連携の重要性を改めて考えていきます。

(齋藤栄樹)

「協力ありがとう」「やいました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台広瀬河畔教会の皆様、感染対策をとりながらお手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセルの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会」(書道)◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」など施設内で行う活動は引き続きお休みさせていただいております。

「コロナ感染も大分落ち着いてきたのでもうそろそろ手伝いに行けますか?」「また、皆とおしゃべりしながらお手伝いしたいね」などありがたいお話も頂いています。その時を私共も楽しみにしております。(中村悦子)

1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)

「ご支援頂きありがとうございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】

22 9/25〜10/29

(鈴木一彦)

【バザー提供】

22 9/29〜10/26

【ショップ提供】

22 10/26

(栗原市) 有限会社アルコン

皆様からのご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(川尻誠)

【バザー開催日のご案内】

《12月》

1日(木) ヨークマルシエ大和町店

(若林区)

6日(火) ヨークベニマル山田鉤取店

(太白区)

8日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

(宮城野区)

13日(火) ヨークベニマル南吉成店

(青葉区)

20日(火) ヤマザワ茂庭店

(太白区)

22日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

(宮城野区)

24日(土) ありのままショップセル

(仙台ありのまま舎)

27日(火) 篠原(向日葵ライブ

サポートセンター・太白区)



寒さが厳しい季節になりましたがバザー一会頑張っています！

ありのまま舎後援会(敬称略)

22 9/16〜10/26

(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

9月分の売上の一部を「寄付」頂きました。

◆こくみん共済coop

宮城推進本部 1,411円

ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア

県南・亘理ありのまま舎)

10,705円

◆株式会社ミチノク

22 7〜9月分売上

1,384円

日下亜弥

1,384円

県南エリアコミュニティ地域

生活支援拠点 7,789円

【後援会員を募集しています】

後援会員が年々減少しています。ありのまま舎活動を支えてくださる後援会員を募っています。

◆年間会費

・個人会員 10,000円

・法人会員 20,000円

・賛助会員 3,000円

※途中退会も可能です。

【お申し込み】

会報「自立」に同封の郵便振替用紙に「後援会」とご記入ください。お気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

(担当 佐藤)



自販機設置支援



各事業所に設置し、入居者、スタッフ、地域の皆さんにご利用いただいています。会社や個人の自宅前にも設置し、ご支援をいただいています。



武田農園

MAIL

info@farm-takeda.com



HP

https://www.farm-takeda.com/



単一原料米 単一農家 生産者直送 タケダの純米

ありのまま舎からのお願い

ご寄付のお願い

施設運営、感染症対策等、難病や障害を持った方々を支援する拠点運営のために活用させていただきます。

(寄付金控除または、税額控除を受けることができます。)

【寄付の流れ】

電話またはメールなどでご連絡ください。会報「自立」に同封している郵便局の振込用紙もご利用できます。入金確認後、寄付者様へ領収書を郵送させていただきます。

バザー協力のお願い

バザー会やありのままショップにて活用させていただきます。毎週水曜日に仙台市内の提供先を回っています。提供いただきたい商品です。



新品タオルやシーツ



日用雑貨



食品類

書き損じはがきのお願い

書き損じたハガキや使わずに残った年賀ハガキ、未使用の切手などを募集しています。また、商品券なども集めています。

【お申込みお問い合わせなどお気軽にご連絡ください。】
社会福祉法人ありのまま舎仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022(243)1300 FAX 022(243)0322

